

(附) 水稻の奨励品種の廃止

1) 水稻(うるち)「キヨニシキ」

(1) 編入年次：昭和45年

(2) 廃止理由：良質・良食味米品種として、主に盛岡以南で栽培されてきたが、平成元年度から本品種と同熟期で、より食味が良く、多収性の「チヨホナミ」が奨励品種に編入され、普及しつつあり、栽培面積が拡大してきたこと。平成2年度の「キヨニシキ」の作付け面積は、1,400haまで減少したこと。等の理由により、「キヨニシキ」を奨励品種から削除する。

2) 水稻(うるち)「コガネヒカリ」

(1) 編入年次：昭和57年

(2) 廃止理由：多収性、耐冷性、耐倒伏性及びいもち病抵抗性が強い良食味品種として、普及してきたが、年々作付け面積が減少し、平成2年度には、3,500haとなり、今後増加が見込めないこと。本品種より葉いもち耐病性はやや劣るものの、熟期が同じで、より食味の優れた「チヨホナミ」が奨励品種に編入され、代替えが可能になったこと。等の理由により、「コガネヒカリ」を奨励品種から削除する。